

情報 ひがし労

JR東労働組合 中央本部

発行人 松下 明

編集者 情宣部

栃木一般協議会

開催!

第2回田中正造研修

栃木一般協議会は10月8日に栃木県佐野市や群馬県館林市において「第2回田中正造研修」を開催し、23名の組合員が参加しました。

田中正造は、足尾銅山による鉱毒事件で苦しむ渡良瀬川沿岸の住民のために、国会での質問書の提出や明治天皇へ直接請願するなど政府や資本家に対して生涯をかけて住民と共に闘いました。

足尾銅山は1610年に発見され、『富国強兵』『殖産興業』のスローガンの下、東洋一と称される大銅山に発展し、戦争政策遂行のための軍事物資として銅を増産しました。しかし、発展と共に鉱毒が周囲の自然を侵しはじめ、渡良瀬川の魚類の大量死、精錬所近くの樹木の立ち枯れ、さらには渡良瀬川の大洪水によって鉱毒を含む水を被った田畑の作物が壊滅し、病人も続出しました。

私たちは、住民と共に明治政府と闘った田中正造の人柄や精神を学び、コロナ禍や物価上昇により苦しむ市民と共に闘います！



この文明の山を築き、川を汚す
村も荒れ、人も殺さるべし

田中正造

